

令和2年度（第14期第1回）小平市廃棄物減量等推進審議会
会 議 次 第

令和2年7月28日（火）
午後2時
リサイクルセンター2階
多目的ルーム

- 1 開 会
- 2 市長挨拶
- 3 委員委嘱状交付
- 4 委員・事務局自己紹介
- 5 会長・副会長互選
- 6 諮問
- 7 事務局報告
- 8 議事
(1) 一般廃棄物処理基本計画の数値目標（令和元年度実績）について【報告】
(2) その他
- 9 リサイクルセンター施設見学
- 10 閉会

諮問事項

「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」（基本的事項）

配付資料

- | | |
|------------------------------|-----|
| 1 第14期 廃棄物減量等推進審議会委員名簿 | 資料1 |
| 2 一般廃棄物処理基本計画の数値目標等（令和元年度実績） | 資料2 |
| 3 廃棄物減量等推進審議会 関連法規 | 資料3 |
| 4 第13期廃棄物減量等推進審議会 答申書 | 資料4 |
| 5 一般廃棄物処理基本計画（改訂）：概要版 | 資料5 |
| 6 災害廃棄物処理計画：概要版 | 資料6 |
| 7 一般廃棄物処理基本計画（改訂） | 資料7 |
| 8 審議会活動スケジュール表 | 資料8 |

事務局	開会の挨拶と配布資料説明【会議次第1】
市長	<p>小平市長の小林でございます。本日は、お忙しいところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆さまにおかれましては、日頃から当市の廃棄物行政を始め、市政全般にわたりまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。</p> <p>本日は、第14期として、最初の廃棄物減量等推進審議会でございます。これからの2年間、活発なご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、市では循環型社会の形成を目指し、「こつこつ小平 もったいないが根づくまち」を基本理念とする「小平市一般廃棄物処理基本計画」を策定しています。その中で、重点施策の「家庭ごみの有料化と戸別収集への移行」につきましては、平成31年4月からの実施を実現することができました。</p> <p>また、当施設「小平市リサイクルセンター」も平成31年4月に環境行政の拠点として稼働することができました。そして、小平市が東大和市と武蔵村山市とで構成する「小平・村山・大和衛生組合」では、3市共同で資源化を行う施設として「小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設エコプラザスリーハーモニー」や「不燃・粗大ごみ処理施設」の稼働も開始しており、令和7年には新たな「ごみ焼却施設」も稼働する予定で整備を進めております。</p> <p>この度は、このように変化していく廃棄物処理環境の中で、それぞれの取組を総合的かつ計画的に推進していくための基本計画の次期策定が近づいていることから「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」（基本的事項）を第14期での、諮問事項とさせていただきます。</p> <p>後ほど諮問書をお渡しさせていただきますが、委員の皆さまにおかれましては、それぞれのお立場から審議会での活発なご審議を賜りますようお願い申し上げます。【会議次第2】</p>
事務局	次に、「委員委嘱状交付」に移ります。【会議次第3】
	市長が委嘱状を読み上げ、各委員に手交
事務局	それでは、委員名簿の順に従いまして自己紹介をお願いいたします。
	各委員自己紹介【会議次第4】
	各委員に続き、田中環境部長の紹介により、事務局職員紹介
事務局	「会長・副会長互選」に移らせていただきます。【会議次第5】
	⇒会長に山谷修作委員、副会長に滝沢三千代委員、渡辺浩平委員が選出
	会長・副会長から挨拶
事務局	次に「諮問」となります。【会議次第6】
	諮問書を小平市長から会長に手交いたします。諮問内容の要旨については、後ほど環境部長からご説明いたします。
市長	<p>それでは、「小平市廃棄物の減量及び処理に関する条例」第7条第1項の規定に基づき、次のとおり諮問いたします。</p> <p>「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」（基本的事項）</p> <p>令和2年7月28日</p> <p>小平市長 小林 正則</p> <p>ご審議のほど、よろしくようお願い申し上げます。</p> <p>**諮問書手交場面の写真撮影**</p>

事務局	市長は次の公務がございますので、ここで退席させていただきます。 **市長退席**
事務局	ここからは、会長に議事を進めていただきたいと思います。 会長、よろしくお願いいたします。
会長	それでは、最初に田中環境部長からご挨拶いただきたいと思います。
環境部長	**田中環境部長挨拶**
事務局	**審議会の運営方法説明** ※新型コロナウイルス感染症対策のため、本日の傍聴は中止
会長	諮問書の趣旨説明を田中環境部長からお願いします。
環境部長	今回の諮問の主旨につきましてご説明申し上げます。 平成26年3月に策定した「小平市一般廃棄物処理基本計画」では、「もったいない」の意識と行動を小平市に根づかせ、かけがえのない地球資源への尊敬の念を育て、循環型社会を実現することを目的として掲げております。この計画の中にある施策を押し進めていくためには、市民・事業者・行政が一体となって取り組んでいくことが必要であると考えます。 平成30年3月策定の基本計画改訂版は令和4年度末までを目標年度としており、令和5年度から14年度までの次期基本計画を策定してまいります。そのため、この第14期の任期期間中に、次期基本計画の基本的事項を中心にご審議いただきたいと思いますと考えております。 また、次期計画策定については、SDGsにも記載されております「食品ロス」や非常時における「災害廃棄物処理」等の諸問題にも目を向けていく必要もがございます。限られた任期でのご審議となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。
会長	事務局から報告をお願いします。【会議次第7】
事務局	**事務局から報告** [新型コロナウイルス感染症拡大による各種イベントへの影響について] ・5月31日(日)「ごみゼロフリーマーケット」の中止 ・令和2年度の「環境フェスティバル」を中止し、開催規模を縮小のうえ、「こだいら環境デー」を9月5日(土)開催決定 [7月15日(水)リサイクルきゃらばん(東部公園)の実施] ・来場者は約300人 ・前回の実施時と比較して、陶磁器食器は約2倍、小型家電は約3倍の回収量 [コロナ下での収集業務及びごみ量への影響について] ・収集作業員の時差出勤対応 ・資源循環課職員の在宅勤務を取り入れた半数勤務を実施(課内の職員を2グループに分割した勤務体制) ・家庭ごみは約2割程度増加、事業系ごみは約2割程度減少、全体のごみ量としては約14%増加(それぞれ令和元年度4月から6月のごみ量と比較した場合)
	事務局からの報告に対する質疑は特になし

会長	次に、「議事」に移ります。【会議次第8】
事務局	<p>「小平市一般廃棄物処理基本計画の数値目標等（令和元年度実績）」について報告いたします。（資料2-1、2-2）</p> <p>[計画最終年度における数値目標の見直し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出物原単位を上方修正 <p>1人1日当たり690g以下→1人1日当たり640g以下</p> <p>[取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量は着実に進んできているが、さらに発生抑制や民間ルートでの再利用の促進等が必要 ・食物資源やプラスチック製容器包装等の資源化推進、処理体制の整備が必要 <p>[数値目標の考察]</p> <p>排出物原単位・処理ごみ量原単位について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出物原単位（令和元年度実績）：653.8g/人日 ・処理ごみ量原単位（令和元年度実績）：470.8g/人日 <p>※どちらの数値も家庭ごみ有料化の影響もあり、減少傾向</p> <p>令和元年度の家ごみ有料化及び戸別収集に伴う歳入・歳出・指定収集袋の販売数等について報告します。（資料2-3）</p> <p>[歳入]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理手数料（家庭ごみ指定収集袋分）：約5億4,400万円 <p>[歳出]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定収集袋関係経費：約2億500万円 ・戸別収集委託料（増額分）：約1億9,200万円 ・3R推進経費：約1億3,700万円 ・パンフレット関係経費：約1,000万円 <p>[指定収集袋の製造・配送数]（令和元年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各取扱店及び公共施設等での販売数は、約1,550万枚（20リットル袋の需要が多い） <p>[直近の有料化実施市の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直近10年間での有料化実施市における指定収集袋の値段及び市民1人1日当たりの収集ごみ量について
会長	質問のある方はいらっしゃいますか？
委員	<p>資料2-3の歳入・歳出について質問します。</p> <p>パンフレット作成経費や3R推進経費は以前から存在していたと思いますが、有料化に伴う歳入の取扱いはどうなっていますか？また、今後の歳出分について、有料化による指定収集袋に係る収入の使い道がどのようになっていくのかをお聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>パンフレット作成経費についてですが、戸別収集の導入により収集体制も見直しが行われました。従来の東西2地区の分け方から市内を5つのエリアに分けたこと、また、収集日をカレンダーによる表記にしたことにより、パンフレット・カレンダーの作成費用がかかっております。また、3R推進事業については、家庭ごみ有料化に向</p>

	けた市民説明会の中でも、指定収集袋に関する収入分についての使い道のご質問はいただいております。その際に、3Rを推進する事業に充てたいと説明しておりますし、食物資源循環事業の参加世帯を増やしたいところもありますので、そういった事業の拡充に活かしていきたいと考えております。
会長	戸別収集に切り替えて、収集コストはどれくらい増加していますか？
事務局	戸別収集になったことにより、収集に係る委託料が2割程度増加しております。
委員	資料2-1「数値目標の見直し」について質問です。目標年度が令和4年度となっておりますが、見直し内容の根拠をご説明いただきたいと思っております。 2つの目標値がありますが、排出物原単位の目標値の640g/人日というのは近い将来達成ができそうに思えます。併せて、処理ごみ量原単位の方はどうされるのか教えていただければと思います。
事務局	排出物原単位は、家庭ごみ有料化前も毎年度1%程度は減少傾向にありました。仮にこのまま減少が続いてくれば目標値は達成できる見込みがない訳ではないと考えております。また、処理ごみ量原単位については、既に目標値を達成できておりますが、今後ごみ量が増えないように引き続きごみ減量に努めていきたいと思っております。
委員	目標の立て方として、もう少し意欲的な目標値設定もできるのではないのでしょうか？
事務局	目標数値については、一見達成できそうですが、家庭ごみ有料化後の1年目はどの自治体でもごみの量は減少する傾向がありますので、その翌年度の状況を見定めることが重要です。現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、ごみの量は増えておりますので、目標値の達成は簡単なことではないという側面もあると思っております。次期計画においての目標値については、社会情勢や皆さまのご意見も取り入れながら作成してまいりたいと思っております。
会長	それでは、リサイクルセンター施設見学に移りたいと思っております。
	施設見学【会議次第9】 2階見学者コース⇒1階リプレこだいらの順に見学
会長	施設を見学して何かご質問のある方はいらっしゃいますか？
委員	カンやビンの排出時に使用したビニール袋はどのように処理されるのでしょうか？
事務局	汚れが付いたものが多いため、燃やすごみとして焼却処分になります。
委員	不適物の混入について。戸別収集になってその割合が増えたということはありませんでしょうか？
事務局	以前のステーション方式の頃よりも戸別収集に変わったことにより、分別の質は良くなっていると現場の収集員からも声をいただいております。
副会長	最終処分場において現在は埋め立てゼロとのお話がありましたが、その辺りのご説明をいただけますでしょうか？
事務局	日の出町の最終処分場では焼却灰を「エコセメント化」しておりますので、埋め立ては行っていません。エコセメントは、道路等の材料として使われています。
委員	ビンの蓋の分別について教えてください。
事務局	素材ごとの分別が必要となります。蓋の素材が金属のみでしたら「カン」、金属とゴムの混合の場合は「燃やさないごみ」になります。

委員	スーパーマーケット等での資源物の拠点回収があるが、そのように企業が回収を行っている場合はそちらを利用した方が良いでしょうか？
事務局	購入したものに關する資源物は購入店に返すというのが本来望ましいかたちです。しかしながら、各店舗だけでは回収についての意思決定ができないことも多く、各企業の都合もあるケースが多いのが実情です。今後も3Rに協力してくださる市内店舗と繋がっていけるように働きかけを継続していきたいと考えております。
会長	それでは、次の第2回審議会日程について決めたいと思います。 10月27日（火）14時から皆さまご都合はいかがでしょう？ **異議なし** では、第2回審議会開催日は、10月27日（火）14時からといたします。
事務局	では、委員の皆さまには開催日の1週間ほど前を目途に開催通知を送付させていただきます。
会長	その他、何かありますでしょうか？
委員	他の審議会では、オンライン会議を実施されたところもあるそうですが、本審議会においても、講演等がメインの回では、オンラインでの開催可能性はありますか？
事務局	オンライン会議についてですが、本審議会は他の審議会と異なり委員人数も多いので、設備環境の面も含めて考えますと、現時点ではオンライン会議は難しいものと考えております。
会長	可能な限り、実際に顔を合わせて審議ができる形式で開催したいと思います。
会長	それでは、これにて閉会といたします。お疲れ様でした。
	～ 散 会 ～